

令和3年度
事業計画書

コロナ禍に負けない事業者の持続と挑戦への全力集中

今期のテーマ「調和のとれた企業活動と地域の振興を目指して」

目 次

1. 基本方針	P.1
2. 重点事業	P.2
3. 部 会		
(1) 商業部会	P.4
(2) 工業部会	P.4
(3) 建設業部会	P.4
(4) 観光・サービス業部会	P.5
(5) 運輸情報業部会	P.5
(6) 金融・都市開発業部会	P.5
4. 常置・特別委員会		
(1) 総合調整委員会	P.6
(2) 創業・承継委員会	P.6
(3) 次世代エネルギー産業委員会	P.6
(4) 地域活力人財育成委員会	P.7
(5) 人財ネットワーク委員会	P.7
(6) 優しいまちづくり委員会	P.7
(7) 強靱な郷土づくり委員会	P.8
(8) 小名浜港物流高度化特別委員会	P.8
5. 地区委員会		
(1) 平地区委員会	P.8
(2) 小名浜地区委員会	P.8
(3) 常磐地区委員会	P.9
(4) 勿来地区委員会	P.9
6. 青年部・女性会		
(1) 青年部	P.9
(2) 女性会	P.9
7. 商工会議所運営に関する事項	P.10
8. 主要関係団体	P.11

1.基本方針

本年 3 月、東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故の発生から 10 年の節目を迎えました。本来であれば、世界各国から大勢の来訪者で賑わう中で震災復興をテーマとする「東京 2020 オリパラ大会」を開催し、日本社会は新たなステージへと歩みを進める予定でしたが、突如として新型コロナパンデミック(世界的大流行)に見舞われ、海外渡航禁止や都市のロックダウンが行われるなど、世界中が大混乱に陥っております。

新型コロナパンデミックは、人々の価値観を変え、生活行動様式を変え、経済、医療、教育、企業のありようなど、急速に私たちの日常と社会を大きく変えました。経済情勢先行きの不透明性や感染拡大への強い警戒感から、企業の設備投資と国民の消費マインドが停滞し、景気回復に力強さを欠く状況が続いています。

とくに、いわき地域経済にとっては、2011年3月の大震災・原発事故に加え、2019年10月の豪雨災害からの復興途上にある中でのコロナ禍であり、さらには本年2月に大規模な余震「福島県沖地震」が起こるなど、企業マインドにも大きな影を落としている所です。当所調査におきましても、売上の減少、営業時間の短縮、事業や雇用の縮小、業態の変更、運転資金の借入れ、感染防止対策の措置、テレワークの導入など、幅広い産業に大きな影響が及んでいます。とりわけ観光業、宿泊業、飲食業、宴会業、イベント業など、人を集めることで成り立つビジネスは苦境に立たされており、新規感染急拡大によるGoToトラベルやGoToイートの一時停止、緊急事態宣言の再発出の影響を受け、経営の舵取りは極めて難航しております。

いわき地域経済が抱える最大の課題は、コロナ禍を生き抜き、早期復興を図るための緊急対応とビジネスチェンジです。こうしたことから、昨年策定致しました「ウイズコロナ時代における地域経済振興プラン～集え!勇気ある挑戦者たち～」を踏まえ、「中小・小規模事業者の持続とチャレンジ支援」を令和 3 年度の最重点事業に掲げ、行政との協調体制のもと、全力集中で取り組んで参ります。

一方、中長期的な課題として、地域活力の源泉となる関係・定住人口の増加、将来の地域を支える人財の育成、カーボンニュートラル社会を先導する次世代エネルギー産業の定着、ワクワク感のあるまちづくり等が挙げられます。こうした地域課題の解決に向けて、「いわきシフトの推進」を図って参ります。

2.重点事業

(1)中小・小規模事業者の持続とチャレンジ支援

コロナ禍で需要や売上の回復が見込めない状況においては、特別貸付や給付金等の支援制度を最大限に活用することにより、まずは当座の資金繰りの安定化を図り、人件費や賃借料等の固定費軽減を通じて経営を底支えすることが急務です。こうしたことから、中小・小規模事業者の状況や課題を絶えず把握するとともに、経営指導員および補助員が事業者に寄り添い、課題に対応したアドバイス、情報提供、支援策活用の全力サポートを行うなど、経営持続に向けて最大限の努力を尽くして参ります。

また、コロナ禍の影響により大変な苦境に立たされている業界を地域が一体となって支えることを目的として、魅力ある商品づくりやサービス向上を支援しながら、行政、企業、市民に協力を呼び掛けた「#いわき支えあいキャンペーン」を展開し、地域内経済循環を高めて行きます。

一方、安心安全の確保と社会経済活動の両立を図る「ウィズコロナの時代」を迎えた現在、新型コロナウイルスが常在しながらも一定の制御下に置き、感染拡大を最小限に押さえつつ、社会経済活動のレベルを可能な限り活発化させていくことが重要であると受け止めております。そのためには、政府が力強いリーダーシップを発揮し、地方自治体、市民、医療界、経済界、事業者等が連携して感染拡大防止に努めるとともに、これまでに得られた知見に基づく対策をいち早く打って行くことが必要であり、こうした対応を関係機関へ働き掛けて参ります。

さらには、既存の市場や需要が縮小するなか、勇気を持って新たな分野を切り拓いて行くことも極めて重要です。コロナ禍への緊急対応とともに、中小企業診断士やITコーディネーターなど専門家の支援を得ながら、新たな市場の開拓や新商品・サービスの開発、デジタル化による業務効率化、さらにはダイナミックな業態変更やM&Aなど、事業者が自ら取り組むビジネス変革への挑戦を提案し、全力で支援して参ります。

とくに、苦境に喘ぐ観光関連産業については、市および観光まちづくりビューローと共同で、人的ネットワークを構築しながら、地域に根差してしっかりと経営をし続ける人財、地域の観光をリードして行く人財の育成を支援し、実践へとつなげて参ります。

[重点事業]

- ◎簡易診断を通じた小規模事業者の現況・課題把握、課題解決策の処方
(資金繰り、デジタル化、支援策活用、業態変更、販路開拓、雇用調整、廃業等)
- 各種補助金・クラウドファンディング等の幅広い活用と寄り添った申請支援
- 「#いわき支えあいキャンペーン」の継続と商品・サービス改良支援
- 大企業と中小企業の新たな共存共栄関係の構築推進
- 首都圏等外部人財を活用したビジネス変革のチャレンジ支援
- ICT企業OB・副業人財を活用した小規模事業者のデジタル化支援
- 自然災害・感染症リスク等に対応した小規模事業者のBCPプラン策定支援
- 「いわき観光経営塾」を通じた経営力向上と人的ネットワークの構築
- 経営安定特別相談室や事業引継支援センター、補助金・税制・投資ファンド・資本金劣後ローン等の支援制度をフル活用した円滑な廃業と承継支援

(2)いわきシフトの推進

新型コロナウイルスは、密な大都市の感染リスクを浮き彫りにしました。密の回避を基本とした「新しい日常」の定着に向け、テレワークを契機に企業の地方移転、地方移住、ワーケーション、副業による「転職無き移住」等への関心が高まっています。こうした東京一極集中から地方への企業と人の流れの強まりを好機と捉え、いわきの恵まれた風土、整備された生活・都市・産業基盤、東京圏へのアクセス、適度な人口密度といった多様性を生かすとともに、さらなる魅力の磨き上げを図りながら、いわきへの企業と人財シフトを強力に推進して行きたいと考えております。いわきシフトの推進により、交流・定住人口の増加や市内消費の拡大を図り、いわきへシフトした企業と人財の力を活用した地域経済の活性化や地域課題の解決へとつなげて参ります。

こうした観点から、市内にバッテリー関連企業が数多く立地するという特長を背景に、さらなる関連メーカーやベンチャーの集積を図ることにより、次世代産業のキーデバイスである電池関連産業の集積を目指した「いわきバッテリーバレー構想」を推進します。

また、政府から「2050年までにカーボンニュートラルの実現」が宣言され、エネ庁等が福島県に特化した脱炭素社会モデル事業を実施するとともに、小名浜港が全国6港のカーボンニュートラルポートに選定されました。こうした追い風を生かし、福島水素エネルギー研究フィールドとも連携しながら、CO2フリーの水素社会実現に向けた活動を推進することにより、全国に先駆けたエネルギービジネスの構築を図ります。

一方、教育界、行政、NPO、経済界が連携して市内学校が取り組む地域連携事業をサポートする「いわきアカデミアプロジェクト」の強化充実を図るとともに、蓄電池や水素技術廃炉等いわきでしか学ぶことができない技術教育と研究開発を行う「(仮称)いわき工科大学・大学院」の設立に向けた調査検討を進めます。

さらには、文化・スポーツ振興を通じた「ワクワク感のあるまちづくり」、道路・港湾等の産業・生活インフラ整備促進や医療高度化に資する「重粒子線がん治療」専門機関誘致に向けた要望活動、並木通り再開発事業や大型商業施設跡地の新たな核づくりを含む中心市街地の賑わい向上、自然災害リスクに対応した地域防災計画の作成を通じた「安心安全なまちづくり」を推し進めて参ります。

[重点事業]

- 蓄電池・水素を活用した脱炭素社会形成と関連ビジネス振興に向けた推進
- 若者の定着・誘致に向けた「(仮称)いわき工科大学・大学院」設立構想の推進
- IWAKIふるさと誘致センター「お試し暮らしプラン」・「ワーケーション」の推進
- いわきアカデミア事業の集約・強化充実
- いわき市中心市街地活性化プロジェクト実現に向けた推進
- スポまち協議会活動を通じたシティセールス・健康増進
- アニメ映画「フラ・フラダンス」を活用した新たな観光振興策の推進

以上のとおり、令和3年度は、今期のテーマ「調和のとれた企業活動と地域の振興を目指して」のもと、行政および全国各地商工会議所との連携をより一層深めながら、「コロナ禍に負けない事業者の持続と挑戦への全力集中」を図って参りますので、引き続き、いわき商工会議所の事業活動に対してご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3.部 会

商業部会	
事業方針	新型コロナ、働き方改革、人財活用、デジタル化への対応など、地域商業を取り巻く課題に関する情報共有化を図るとともに、行政・商工会議所支援メニューを活用した課題解決を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆商店街・商業施設と連携したチャレンジショップの実施 ◆地域商業を取り巻く課題、課題解決モデル事例、支援策をテーマとする情報交換会・勉強会の開催および情報提供

工業部会	
事業方針	水素や蓄電池、再生可能エネルギー分野を中心に事業化支援、調査研究を行うとともに、地域における新産業とビジネス機会の創出を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆工業並びに食品製造業などのものづくり企業の販路拡大の支援 ◆水素や再生可能エネルギー等関連産業集積に向けた研究及び支援 ◆新たな産業創出のための情報提供と市民への啓蒙活動の促進 □小名浜港のカーボンニュートラルポート選定に関連する水素等の次世代エネルギー利活用や脱炭素関連産業育成に関する調査研究

建設業部会	
事業方針	イノベーション・コースト構想、福島新エネ社会構想など、業界としてアプローチできる事業の考察及び災害発生前後の対応策について検討する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元建設業者への工事発注に向けた国・県・市の産業振興策との連携 ◆災害に強いまちづくりの推進(強靱な郷土づくり委員会と連携) ◆地元選出国會議員・県會議員・市會議員との懇談会の開催 □脱炭素化に配慮した港湾(カーボンニュートラルポート)としての小名浜港の考察

観光・サービス業部会

事業方針	新型コロナの影響を大きく受けている観光・飲食事業者の経営持続に向け、各種支援策情報の収集・提供、地域内循環(マイクロツーリズム・支えあい)の推進、新たな分野へのチャレンジ支援を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ #いわき支え合いキャンペーンの継続並びに商品・サービスの改良支援 ◆ GoTo キャンペーンなど支援策情報の提供・活用推進 ◆ 人財確保・生産性向上に向けたセミナーの開催 ◆ スポーツ(ゴルフ、サイクルツーリズム、各種大会)による観光再生の推進 ◆ アニメ映画「フラ・フラダンス」を活用した新たな観光振興策の推進 ◆ 小名浜港観光遊覧事業への支援

運輸情報業部会

事業方針	「運輸業」と「情報業」の連携を図りつつ、各業界の動向や課題などについての情報の収集と共有を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> □ 「分科会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「運輸業」;脱炭素社会の実現に向けた物流の在り方 (カーボンニュートラルポート等)の情報収集、共有 ・ 「情報業」;地域中小企業のデジタル化の推進についての情報収集、提供 支援並びに情報リテラシーの推進 ◆ 労働力確保、生産性向上への対応の経営課題について情報提供

金融・都市開発業部会

事業方針	企業経営安定のための情報収集やスマート社会の実現に向けた調査研究を行い地域課題の解決を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 経営全般及び地域材活用に関するセミナーの開催 ◆ 「令和元年東日本台風」の災害復旧事業に関する勉強会の開催 ◆ いわき市におけるスマート社会実現に向けた勉強会の開催 ◆ 金融機関との懇談会の開催 ◆ 景気・経済動向や金融状況等の定期的な情報提供 ※会報「ふろんていあ」への掲載

4.常置委員会 ・ 特別委員会

総合調整委員会	
事業方針	各委員会との連携・調整を通じ、商工会議所意見の集約、政策企画運営適正化を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆商工会議所内の意見集約 ◆地域経済活性化政策の企画・推進 ◆商工会議所の運営強化
窓口の統一	<ul style="list-style-type: none"> ◇新型コロナウイルス感染症対策に係る体制及び対応策の検討・実施 □カーボンニュートラルレポートに関する情報の収集と共有・提供 ※経産省、国交省など関係機関や会議所各部会・委員会などとの連携

創業・承継委員会	
事業方針	関係機関とのネットワークを構築しながら若手経営者・創業者・後継者の育成事業譲渡等による承継促進を図り、事業継続を支援する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業・ひと・技 応援ファンド事業の実施 ◆首都圏等副業人材とのマッチング支援事業の実施 ◆いわき地域創業スクールの開催 ◆関係機関連携及び情報共有のための「いわき地域中小企業支援ネットワークセンター」の運営

次世代エネルギー産業委員会	
事業方針	再生可能エネルギーや蓄電、水素等の次世代エネルギーを活用した新産業創出の推進並びに基幹産業であるものづくり産業の振興、支援強化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> □グリーン成長戦略を踏まえたカーボンニュートラル形成に関連する産業振興及び実証事業等の検討 ◆「いわきバッテリーバレー構想」実現に向けた企業誘致及び活動の推進 ◆蓄電池関連産業集積に向けた活動の推進 ◆高度な技術教育と研究開発に携わる人財育成のための「(仮)いわき工科大学・大学院」等の設立に関する調査研究

地域活力人財育成委員会

事業方針	ライバル都市・先進都市の調査研究並びに若手経済人の成長促進のための事業構築を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バランスの取れたリーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種青年部等経済団体との懇談会の開催 ・ 若手経営者、後継者等を対象とした経済人塾の開催 ◆ 選ばれる地域“いわき”創造のための先進地域の調査研究・視察会の実施 ◆ いわきアカデミア推進協議会との連携

人財ネットワーク委員会

事業方針	関心・関係・定住人口の増加策やさまざまな人財とのネットワークを通じた地域課題・企業課題の解決に向けた事業の展開を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ワーケーションを活用した「いわきシフト」の推進 ◆ ICT 企業 OB・副業人財を活用した小規模事業者のデジタル化支援 ◆ IWAKI ふるさと誘致センターとの連携 ◆ 外部人財とのネットワーク構築

優しいまちづくり委員会

事業方針	官民連携による公共空間の利活用に向けたプロジェクトの推進や多様な人材を活用した魅力ある優しいまちづくりの形成を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 継続的なまちづくりを目指した公共空間有効活用促進のための勉強会や意見交換会の実施 ◆ IoT 技術を活用した次世代交通システムの推進 ◆ 女性や若者、障がい者など多様な人材が参加できるまちづくりの実現に向けた調査研究 ◆ 東京大学先端科学技術研究センターと連携した地域課題解決に向けたプロジェクトの推進 ◆ いわき市中心市街地活性化協議会との連携 ◆ スポーツによる人・まちづくり推進協議会との連携

強靱な郷土づくり委員会

事業方針	自然災害等への備えや迅速な対応を支えるため、いわき市共同による「事業継続力強化支援計画」の策定に取り組むと共に域内事業者の事業継続計画の普及を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業継続力強化支援計画の策定(いわき市と共同策定) ◆中小・小規模事業者の次期災害に備えたBCP策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「いわき商工会議所復興支援グループ」共同事業の継続支援 ・BCP策定の啓蒙普及、情報提供及び策定セミナーの開催

小名浜港物流高度化特別委員会

事業方針	港湾機能の強化と拡充を事業目標とし、国・県・市と連携を図りながら重要港小名浜港の整備促進並びに利用促進に向けた活動に取り組む。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆小名浜港整備促進に関する要望活動への参画 ◆小名浜港ポートセールス事業の参画 ◆小名浜港の港湾機能高度化に向けた調査検討 □小名浜港カーボンニュートラルポートの情報の収集と共有

5. 地区委員会

平地区委員会

事業方針	「いわき市中心市街地活性化基本計画」の民間主導プロジェクトの支援や協力などにより地域経済活動の活性化を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆いわき市中心市街地活性化協議会民間主導プロジェクト事業の支援・協力 ◆ウィズコロナ時代における経済活動活性化の推進 ◆いわきの伝統行事「いわき七夕まつり」への支援・協力 ◆会員の拡大と交流

小名浜地区委員会

事業方針	いわき市復興のシンボルと位置づけされている「小名浜地区」のさらなる復興・創生に向けて推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆アクアマリンパーク整備促進など小名浜港周辺地域の賑わい創出の推進 □小名浜港の機能向上に向けた協力・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「カーボンニュートラルポート」の情報収集並びに東港整備に伴う支援 ◆イオンモールいわき小名浜及び各行政機関との地域情報交換会の実施 ◆会員の拡大と交流

常磐地区委員会

事業方針	まちづくりや観光等の各種地域団体と連携しながら、地区再生のカギとなる観光産業の再生、地域全体の振興に向けた事業を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆いわき湯本温泉郷を中心とする観光産業再生への支援 (「フラのまち宣言」推進委員会・ワーケーション商品開発への支援) ◆市常磐地区まちづくり検討会への参加・駅前市街地再生への参画と提案 ◆滞在型観光地の整備促進への研究(バーデンヴァイラー市との友好交流) ◆会員の拡大と交流

勿来地区委員会

事業方針	勿来地区を支える会員事業所や関係諸団体との連携強化を通じて地域振興と活性化を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆国道 6 号勿来・関本バイパスの早期開通に向けた活動の推進 ◆いわき南部地区中心市街地活性化協議会等と連携した南部地域活性化の推進 ◆勿来商工会館の老朽化対策の検討 ◆会員の拡大と交流

6. 青年部・女性会

青年部

事業方針	「次世代の育成」と「地域発展のための仕組みづくり」をテーマに事業を実施する。また組織力強化のための会員増強を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆いわき商工会議所(親会)事業への参画と連携強化 ◆まちの発展、企業の経済活動の活性化などに関する行政への提言検討 ◆ジュニアエコノミーカレッジ in いわきの実施 ◆県連、東北ブロック、全国大会等への積極的な参加 ◆市内の青年団体によるプラットフォームの構築

女性会

事業方針	女性経営者・経営を支える女性の立場から、経営意識・経営資質向上に向けた自己研鑽に努め、持続可能な強い企業を目指す。また、会員相互の親睦と連携、他女性会との交流を深め、魅力ある女性会作りを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆いわき商工会議所(親会)事業への参画と連携強化 ◆女性経営者の資質向上と経営力強化に関する事業 ◆会員相互の親睦と各地女性会との交流に関する事業 ◆会員増強による組織強化と魅力づくり推進に関する事業

7.商工会議所運営に関する事項

正副会頭、議員、職員が一体となり、行政と強固な信頼関係を築くとともに、常に会員の立場に立ち時代の先取り・不断の変革を図りながら、民間経済団体の代表格として地域社会をリードしていく。

(1)政策提言活動の強化

- ①部会活動を通じた業界課題の集約、政策とりまとめ、提言活動の実施
- ②日本商工会議所、福島県商工会議所連合会等と連携した意見活動の実施
- ③政策課題をテーマとした議員懇談会、議員研修会の開催
- ④地元選出国會議員、国、県、市との懇談会の開催
- ⑤マスコミとの懇談会の開催
- ⑥市内経済団体との連携強化

(2)小規模事業者経営支援事業の推進

- ①経営、創業・事業承継、情報化、金融、税務、雇用等に関する経営相談の実施
- ②経営指導員による計画的な巡回訪問の実施
- ③経営課題に対応した講習会及び相談会の開催
- ④簡易診断を通じた小規模事業者の現況・課題把握、課題解決策の処方
- ⑤各種補助金・クラウドファンディング等の幅広い活用と寄り添った申請支援
- ⑥大企業と中小企業の新たな共存共栄関係の構築推進
- ⑦弁護士、中小企業診断士、税理士を配置した経営安定特別相談室の運営
- ⑧「いわき観光経営塾」を通じた経営力向上と人的ネットワークの構築

(3)会員サービス事業の推進

- ①会員事業所の福利厚生充実に向けた「かもめ共済」「特定退職金制度」「個人保険」の普及推進
- ②リスク対応保険(ビジネス総合保険、PL保険、情報漏えい賠償保険、休業補償保険、業務災害補償保険、中小企業倒産防止共済等)の普及推進
- ③会員及び共済加入者に向けたプレミアムバスツアー等の実施
- ④会員割引 PET 診断、がん予防検診の実施
- ⑤会員事業所に向けた「健康経営」の普及推進
- ⑥優良会員事業所、永年勤続・優良従業員表彰の実施
- ⑦簿記、リテールマーケティング、福祉住環境、エコ検定の実施
- ⑧日商簿記検定3級講座の開催
- ⑨貿易関係証明書の発行
- ⑩容器包装リサイクル委託登録申込み受付
- ⑪汚染負荷量賦課金申告説明会の開催及び申告受付
- ⑫会報「ふろんていあ」の発行
- ⑬いわきFM会員インフォメーションの実施

(4)国際・都市交流事業の推進

- ①国際友好都市(ハワイ、タウンズビル、撫順、バーデンヴァイラー)との交流推進
- ②国内親子・兄弟都市(由利本荘市、延岡市)との交流推進
- ③延岡商工会議所、横浜商工会議所、藤沢商工会議所、八戸商工会議所、飯能商工会議所、高山村商工会(群馬県)との交流推進
- ④商店街友好都市(東京都港区)との交流推進

8.主要関係団体

[事務受託団体]

- (1) いわき青色申告会本会・平・小名浜・常磐・勿来支部
- (2) いわきアカデミア推進協議会
- (3) いわき経営者協会
- (4) いわき市平商店会連合会
- (5) いわき中央・東・南地区警察官友の会
- (6) いわき都市圏道路整備促進期成同盟会
- (7) IWAKI ふるさと誘致センター
- (8) いわき・ベトナム交流協会
- (9) 小名浜地区商店連合会
- (10) スポーツによる人・まちづくり推進協議会
- (11) 福島工業高等専門学校協力会
- (12) 福島県エネルギー懇談会いわき支部

[出資団体]

- (1) アクサジャパンホールディング株式会社
- (2) 株式会社いわき小名浜コンテナサービス
- (3) 株式会社いわき市観光物産センター
- (4) 株式会社いわき市民コミュニティ放送
- (5) 職業訓練法人いわき情報処理開発財団(いわきコンピュータ・カレッジ)
- (6) いわき信用組合
- (7) 株式会社いわきティーワンビル
- (8) 株式会社ラトブコーポレーション

[関係を緊密にする団体及び機関]

- (1) 日本商工会議所並びに各地商工会議所及び連合会
- (2) いわき地区商工会連絡協議会並びに市内各地区商工会
- (3) 福島県浜通り三商工会議所連絡協議会
- (4) いわき経済同友会
- (5) 福島県中小企業家同友会いわき地区
- (6) 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー
- (7) 公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会
- (8) NPO 法人いわき環境システム
- (9) 公益社団法人いわき青年会議所
- (10) 公益社団法人いわき法人会
- (11) 公益財団法人ふくしま海洋科学館

- (12) 公益財団法人いわき市国際交流協会
- (13) ジェトロ福島貿易センター
- (14) 一般社団法人東北経済連合会
- (15) 一般社団法人いわきバッテリーバレー推進機構
- (16) 東北ニュービジネス協議会
- (17) 東北情報通信懇談会
- (18) 福島県高度情報化推進協議会
- (19) いわき市地域情報化研究会
- (20) 福島県小名浜港利用促進協議会
- (21) 小名浜港整備促進期成同盟会
- (22) 福島県東北横断/常磐自動車道建設促進期成同盟会
- (23) いわき市高規格道路整備促進期成同盟会
- (24) 一般国道 6 号常磐・久之浜バイパス/一般国道 49 号平バイパス改築工事
促進期成同盟会
- (25) 民間経済団体による一日も早く「国道6号勿来・関本バイパス」を開通する会
- (26) 磐越自動車道沿線都市交流会議
- (27) いわき市鉄道を応援する会
- (28) いわき市次世代交通システム研究会
- (29) 株式会社日本政策金融公庫
- (30) 福島県信用保証協会
- (31) いわき地区税務団体連絡協議会
- (32) 東北税理士会いわき支部
- (33) 公益社団法人福島県宅地建物取引業協会いわき支部
- (34) 公益社団法人全日本不動産協会いわき地区
- (35) NPO 法人いわき住まい情報センター
- (36) いわき地区電信電話ユーザー協会
- (37) 福島県中小企業団体中央会
- (38) 福島県中小企業振興公社
- (39) 福島県環境保全公社
- (40) 福島県産業教育振興会
- (41) 医療創成大学地域連携協議会
- (42) いわき珠算連盟

[地域振興・業界団体]

- (1) いわき市中心市街地活性化協議会(平地区)
- (2) いわき市旅館・ホテル業連絡協議会
- (3) いわき南部振興拠点推進協議会
- (4) いわきフィルム・コミッション協議会
- (5) いわきヘリテージ・ツーリズム協議会
- (6) いわき湯本温泉商店会連合会
- (7) いわき湯本温泉旅館協同組合
- (8) 小名浜スタンプクラブ

- (9) 小名浜まちづくり市民会議
- (10) じょうばん街工房 21
- (11) 平東部地区商業振興会
- (12) 勿来地区商店連合会
- (13) 勿来ひと・まち未来会議
- (14) ネーブルシティかしま

[実行委員会等]

- (1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会
- (2) いわきサンシャインマラソン実行委員会
- (3) いわき市スポーツコミッション連絡会議
- (4) いわき花火大会実行委員会
- (5) いわき湯本温泉郷・21世紀への新たな構想推進会議
- (6) いわき湯本温泉夏まつり実行委員会
- (7) うつくしま浜街道観光推進会議
- (8) いわき七夕まつり実行委員会
- (9) なこそ夏まつり実行委員会